

令和3年4月23日

発言者	発言要旨
梅津委員	<p>県産米の在庫が前年比38%増と報道されているが、詳細はどうか。</p>
県産米ブランド推進課長	<p>農林水産省発表のマンスリーレポートによると、2月末現在の民間在庫の県産米は、前年比5万7,200t増の20万6,300tとなっている。</p>
梅津委員	<p>令和3年度の産地交付金の県枠が拡大するということだが、支援内容はどうか。</p>
県産米ブランド推進課長	<p>地域の裁量を活かし、できるだけ地域独自の取組みを行ってもらうため、下限の2割で設定する考えである。</p> <p>支援内容については、昨年度に引き続き、加工用米と新市場開拓用米について、収量の安定化と生産性向上を図る土づくりに対する支援を考えている。</p> <p>一方で、政府の令和2年度第3次補正予算で措置された「新市場開拓に向けた水田リノベーション事業」をできるだけ活用してもらうため、市町村には優先的にエントリーしてもらっており、不採択となった場合に県枠で救済するスキームを考えている。</p> <p>また、大規模な作付転換が求められる中で、需要が見込める飼料用米への転換を進めるため、低コスト生産の取組みに対し、新たに支援することとしている。</p>
梅津委員	<p>カントリーエレベーターが老朽化し、改修の時期になってきていると聞かすが、改修時期に当たるカントリーエレベーターはどのくらいあるのか。</p>
県産米ブランド推進課長	<p>把握している範囲では、県内49施設のうち30年以上経過するものが5施設ある。徐々に老朽化して更新を迎えていくものと考えている。</p>
梅津委員	<p>施設更新には国の「強い農業・担い手づくり総合支援事業」の活用も考えられるが、県でもかさ上げ支援を考えてほしい。</p>
県産米ブランド推進課長	<p>老朽施設の同種・同機能のものを再整備する単純更新については、国も県も支援制度はない。ただし、耐震化や機能・能力の増強のように既存施設の再編のために施設を整備する場合には、「強い農業・担い手づくり総合支援事業」や「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用できる可能性があるため、相談に応じて丁寧にアドバイスしていきたい。</p>
矢吹委員	<p>生産農業所得について、平均的な農業所得は、純利益と捉えていいのか。また、農業者1人当たりの所得はここ数年で上がっていると理解していいのか。</p>
農政企画課長	<p>生産農業所得に関しては、売上げから費用を差し引いた部分である。この10年間で農業者1人当たりの農業所得は増加傾向にある。引き続き、農業者1人当たりの産出額(売上額)を平成30年から令和6年までに15%程度伸ばしていきたいと考えている。</p>
矢吹委員	<p>昨年はコロナ禍で特に肉、花きについて打撃を受けたが、現在の状況はどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
園芸農業推進課長	<p>また、さくらんぼの販売価格が10%以上下落した場合に補償する緊急価格安定対策事業について、今年度の対応はどうか。</p> <p>花きの現在の状況は、全農の花き全体の取扱実績によると、過去5ヵ年の平均価格に比べて3月は111%、4月1日から4月19日までは107%で、価格については堅調に推移している。</p> <p>さくらんぼの現在の状況は、全農山形の2月1日から4月20日までの実績によると、一昨年の価格に比べて94%で、現時点においてはコロナの影響はほぼない状況である。さくらんぼの価格対策については、今後の価格を随時見極めながら、影響が生じるような場合は、即対応できるように準備をしていく。</p>
畜産振興課長	<p>現在の枝肉価格は、山形牛（A4のメス）で、2,700円/kgから2,800円/kgで、令和2年と比較すると、1割程度高く、元年と比較しても高い状況にある。</p>
矢吹委員	<p>さくらんぼの凍霜害について、現在どのように対応しているのか。</p> <p>また、去年はコロナ禍で閉園した観光農園が多かったが、今年の状況はどうか。</p>
園芸農業推進課長	<p>さくらんぼの凍霜害については、残っている花を確実に結実させるため、4月14日にキャラバンを組み、例年以上に人工受粉の徹底を啓発している。毎年5月下旬にさくらんぼの作柄調査を実施しており、凍霜害の影響について検証していきたい。実際に凍霜害で生産量がかなり減少する場合には支援策についても検討していきたい。</p> <p>観光さくらんぼ園の状況については、現時点で閉園するという情報は聞いておらず、コロナ対策を十分とったうえで、開園すると聞いている。</p>
石黒委員	<p>庄内柿などさくらんぼ以外の果物の凍霜害の状況はどうか。</p>
技術戦略調整主幹	<p>柿の被害について、庄内地域においては9割以上の被害から2割程度のところまで園地や地域で差がある。さくらんぼやリンゴとは異なり、柿は他の花芽でのリカバリーがなかなかできないことから、今後、被害の状況を把握しながら、被害程度に合わせた栽培管理や夏季剪定の方法、肥培管理等について指導していく。</p>
石黒委員	<p>凍霜害により柿が収穫できないことにより農家の生産意欲が下がらないよう、農家のモチベーションを高めながら、しっかりとした対策をしていかなければならないと考えるがどうか。</p>
技術戦略調整主幹	<p>庄内地域は、基本的に霜の影響がないところという認識であった。今回の降霜被害を教訓に、防霜対策の講習会等による生産者の意識付けや経営者としてセーフティネット加入の推進など、多方面からフォローアップしていく。</p>
石黒委員	<p>令和2年の本県の水産業における漁獲量及び漁獲高はどうか。</p>
水産振興課長	<p>属地ベースの漁獲量については、2年は5,979tで、昭和40年以降で最低だった元年4,446tの34%増となっている。また、漁獲高については、2年は31億4,000万円で、元年25億8,000万円の22%増となり、いずれも大きく伸びているが、要</p>

発 言 者	発 言 要 旨
石黒委員	<p>因としてはスルメイカの漁獲高が大きく伸びたためである。</p> <p>水産物におけるコロナの影響はどうか。</p>
水産振興課長	<p>昨年4月に歓送迎会が軒並み中止となったこともあり、昨年の平均魚価については、月平均で対前年比60%台まで落ち込んだ。</p> <p>今年の状況は、高級食材の刺身食材については平年比で2割前後の価格低下となっている。</p>
石黒委員	<p>水産物のブランド化の状況はどうか。</p>
水産振興課長	<p>現在、ブランド化の取組みとしては、天然トラフグ、庄内おぼこサワラ、庄内北前ガニの3つについて取り組んでいる。価格的には対前年と比べてもそれなりの価格で取引きされた。</p>
石黒委員	<p>漁獲量の減少は、漁業者の減少もその要因となっていると考えるが、漁業者の推移と海外からの実習生の状況はどうか。</p>
水産振興課長	<p>漁業センサスを基にした漁業就業者は、平成25年の474人に対し、30年は368人と2割以上の減となっている。20年は602人であり、5年毎に2割程度ずつ減少している。</p> <p>外国人技能実習生の状況については、現在、インドネシアから受入れをしており、令和3年度の計画人数が23人となっている。このうち19人は昨年度から引き続き実習生として研修をしているが、4人はこの春にインドネシアから山形に来る予定だったが、コロナにより外務省からビザがおりず足止め状態となっている。</p>
石黒委員	<p>A L P S 処理水が海洋放出された場合の風評被害については、本県にも影響してくると考えるがどうか。</p>
農林水産部長	<p>福島第一原発事故に伴う被害については、原因者（東京電力）において被害対応するというをこれまで徹底してきたことから、被害があることがわかったものについては、求償していかなければならないと考えている。太平洋側と日本海側で離れているから関係ないということではなく、漁業全体に対する被害があった場合には、これにきちんと対応する必要があるので、漁協の話もよく聴きながら、その対応を考えていく。</p>
島津委員	<p>東北農林専門職大学（仮称）の開学延期の要因と教員招聘の見通しはどうか。また、教員は何人くらい必要なのか。</p>
農政企画課長	<p>延期の最も大きな要因は、教員の招聘作業が進まなかったことである。昨年12月頃から東京等へ出張し、大学の核になる教員候補に個別に当たる予定であったが、コロナ感染拡大時期と重なり、東京に行きたくても行けない状況となった。教員が集まらなると大学の設置認可申請を文部科学大臣に出せないことから、やむなく、開学延期としたものである。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
島津委員	<p>教員数については農業学科で最大 20 人、林業学科で最大 10 人、それぞれ必要と思っている。なお、その半数は県職員を充てていくこととし人選を進めている。</p> <p>今後の見通しはどうか。</p>
専門職大学整備 推進監	<p>自らの経営のみならず、地域全体をリードしていける人材を育成していくことが大変重要である。この専門職大学が、その役割を担うべく、教員の招聘、学生の選抜、カリキュラム構成を考えながら、関係市町村、関係団体といろいろな方々の意見なども伺いながら対応していく。コロナの状況によるが、スケジュール感を持ちながら、計画的に早期開学に向けて取り組んでいく。</p>
島津委員	<p>森林環境緊急保全対策事業の現状はどうか。</p>
森林経営・再造 林推進主幹	<p>やまがた緑環境税を活用して、荒廃森林の整備、森林資源の循環利用の促進に向けた事業を実施している。</p> <p>第 1 期計画は、平成 19 年度から 28 年度の 10 年で、目標 1 万 1,600ha を上回る 1 万 1,836ha の森林整備を実施した。</p> <p>現在行っている第 2 期計画は、平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年となっているが、目標値については第 1 期計画と同様に 1 万 1,600ha、単年度では 1,160ha の整備目標を立てて取り組んでいる。</p> <p>平成 29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で実施した荒廃森林整備の進捗状況については、人工林整備を合わせて、4 年間で 4,437ha の整備を行っている。進捗率としては 38% で、概ね計画通り進んでいる。</p>
島津委員	<p>森林資源循環利用促進事業において、バイオマス発電向けのチップの利用状況はどうか。また、チップ工場の必要量を満たしているのか。</p>
森林経営・再造 林推進主幹	<p>今のところバイオマス発電所向けのチップについては、かなり利用率が高くなっている。この事業は搬出経費が赤字になった場合、その赤字分を補填する事業のため、条件の良いところから搬出した場合は赤字にならないこともあり、これまで 18 万 m³ほどの実績があるが、実際の搬出量はそれ以上あると考えている。</p> <p>チップ工場での必要量に対して全ての要求を満たしているかということについては、まだまだ生産を増やさなければならないと考えている。</p>
島津委員	<p>「公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構」に対する期待はどうか。</p>
参事(兼)森林ノ ミクス推進課長	<p>この機構については、これまでそれぞれの団体がやってきた分収造林の経営、県民参加の森づくり活動に加え、今年度新たに、森林経営管理制度の市町村支援の部分やその強化、その他の団体もやっていた森林環境学習等を一体的効率的に実施する役割を果たす形になっている。県において森林ノミクスを進めていくうえで、連携して取り組んでいく。</p>
伊藤委員	<p>新規就農者支援のこれまでの取組みについて、どのように分析し、どう取り組んでいくのか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
農業経営・所得 向上推進課長	<p>新規就農者については、就農後5年以内に年間所得200万円を目標に掲げており、所得率40%とすると、500万円程度の売上げがないと200万円を確保できない状況にある。</p> <p>課題としては、技術の習得、農地の確保、規模拡大するためのハウスや大型農業機械導入等の面での資金調達が厳しいことがあるが、生産基盤の強化が最も重要であり、今年度から新たに「元気な地域農業担い手育成支援事業」を創設し、経営発展に必要なハウスや農業機械の導入などに対し、県と市町村が連携して経費の2分の1を助成し、新規就農者の経営安定につなげていきたいと考えている。</p>
伊藤委員	<p>新規就農者に対して、いかに相談に乗るかという仕組みを構築することも必要と考えるがどうか。</p>
農業経営・所得 向上推進課長	<p>農業者の経営発展や地域に定着することをサポートする場合、地域の先進的な農家からのアドバイス、地域の集落の方々を受け入れてもらい、サポートしてもらえる環境づくり、さらには県や市町村のサポートチームが寄り添いながら支援するという、重層的な支援体制を取っていかないと新規就農者の安定的な経営の実現は難しいと考えている。</p> <p>そうしたことから、「元気な地域農業担い手育成支援事業」では、新規就農者を地域で受け入れる環境づくりに対する支援も実施していきたいと考えている。</p>
伊藤委員	<p>山形県防災重点農業用ため池に係る推進計画について、箇所数は出ているが金額についてはどのように試算しているのか。</p>
農村計画課長	<p>昨年度、防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法が施行され、ため池に係る防災工事等推進計画が定められた。令和3年3月に推進計画を策定し、今後10年間、農業用ため池については、緊急性の高いところから整備を順次集中的に行っていく。</p> <p>県内の農業用ため池は1,093箇所あるが、その中から防災重点農業用ため池として、370箇所を選定している。そのうち、ため池の決壊等による下流域への影響度が大きく、特に緊急性の高い大規模なため池を82箇所選定し、事業が完了したもの、実施中のものが合わせて45箇所ある。残りの37箇所については今後10年間で集中的に整備を行っていく。</p> <p>現時点では整備に要する全体の金額は算定していないが、国の「防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策」による国庫補助を活用して今後5年間は実施していく。</p>